



形成外科開設1
病院の憩いの空間2
レシピ紹介3
内科外来リニューアル他	...4

形成外科開設

7月4日より市立伊丹病院において形成外科診療を始めることとなりました。形成外科の定義として、専門書より引用すれば『形成外科とは先天的あるいは後天的に生じた醜状及び障害に対し、形態的かつ機能的に良好な状態にすることを目的とする診療科』とされています。

形成外科で取り扱われている疾患の具体例として、皮膚腫瘍、悪性腫瘍切除後の再建、顔面外傷(骨折や軟部組織損傷)、眼瞼疾患(下垂や内反)、手足の外傷や先天奇形、熱傷、瘢痕(ケロイド・肥厚性瘢痕・瘢痕拘縮)、褥瘡や難治性潰瘍、口唇口蓋裂などがあります。形成外科単独で治療にあたる疾患もあれば再建手術が必要な疾患では他科と協力して扱うことが多いと思います。

扱う疾患の具体例として、まずひとつは乳房再建です。乳癌手術などで生じた乳房変形あるいは欠損を修復・形成することです。当院乳腺外科担当医師と協力し、乳癌治療の一環として行なっていきたいと考えております。(※ただし乳癌根治よりも優先するものはないため乳癌症例の全てが再建の適応になるわけではありませんが乳腺外科担当医師と相談の上で可能な範囲で行ないたいと思います)

その他の具体例では母斑、粉瘤、脂肪腫などの良性腫瘍や有極細胞癌、基底細胞癌などの皮膚悪性腫瘍です。体表の疾患であり、特に顔面などの人目に付く部位では手術後の傷痕が気になることもあり確実に切除することに加え、術後の整容性もできる限り保持できるようにしたいと思います。

専門性が高い場合には大学病院などのさらに高次の医療機関へ紹介もいたしますが、可能な範囲で対応させていただきます。

今後、形成外科診療を発展させ、伊丹市を中心とした地域医療に少しでも貢献できればと考えています。



形成外科医長 なかむら 中村 かずと 和人

～病院の憩いの空間～

当院の敷地内に、陶壁や歌碑、絵画などが多数点在しているのを皆さまご存じでしょうか。

絵画だけでも常設で20点以上の展示があります。また2階外来では、ボランティアグループ「ハイジア」による絵画の展示が1ヶ月ごとに内容を替え行われております。

今回は、会計精算受付の左横にある陶壁について皆さまにご紹介いたします。



会計精算受付の左横にある陶壁

加藤唐九郎（1898～1985、愛知県出身）は昭和の名工とうたわれた陶芸家、陶磁器研究家です。

一度は今でいうところの人間国宝に認定された近・現代陶芸の巨匠です。桃山陶に挑戦を続け、黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部・唐津・信楽・伊賀・高麗など、茶陶においては他の追随を許さない独自の作風を確立しました。奔放にて大胆な人柄は「破格の人」といわれ、漫画『美味しんぼ』の唐山陶人のモデルとされています。昭和の美術界を揺るがした「永仁の壺事件」など、その波乱に満ちた生涯は近年でも、松村友視の長編小説『永仁の壺』や漫画『ギャラリーフェイク』に取り上げられております。事件後も精力的に作陶を続け、晩節をまっとうした人生はその作品とともに広く知られております。

加藤唐九郎が昭和初期の頃から取り組んだのが、陶壁です。陶壁とは、建築のタイルと同じように、やきもので大きな陶板をつくり壁にはめ込んだものです。加藤唐九郎は繰り返し陶壁の仕事をしており、愛知県や広島県など数カ所にその作品が遺されています。当院の陶壁は、昭和58年に病院移転の際に当時の病院長からの依頼により制作された85歳の最後の陶壁作品です。茶碗とは異なり時間と体力を使う大仕事ですが、茶碗など小さな物ばかり作り続けていると、知らず知らず細かいところに目が行って、小さくまとまってしまうところを、陶壁などの大きな仕事もやることによって気分も、作陶のエネルギーも大きくなって、双方のバランスが良くなるんだ、というようなことを生前語っていたという加藤唐九郎がたどり着いた世界といえるでしょう。

高さ7.5メートル、幅6メートル。窯焼きのため200枚以上に切り、壁にはめ込まれた陶板は厚さ10cm近くあります。中心に太陽、天に3羽の白鳥がはばたき、地からは松が伸びる。大胆な構図や凹凸ある表面は待合席から見上げればたいへん迫力があり、また青色や緑色の釉薬の輝きは、照らす太陽光の変化によってその表情を変えます。

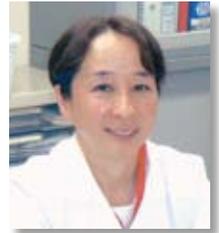
左下の1枚の陶板には最晩年の銘「玄」の文字が彫り込まれています。

夏バテ予防のレシピ紹介 ～栄養管理担当～

夏野菜を使ったおいしいメニュー

食欲のない時は、炊き込みご飯などと一緒にいかがでしょうか？
生姜など香味野菜を使い食欲増進に！！

ゴーヤには美容によいビタミンCがトマトの5～6倍、茄子には抗酸化作用のあるポリフェノールが、きゅうりには余分な塩分を排出するカリウムなどの人の体に必要な栄養素が補えます。



栄養管理担当 主幹
いわの みなこ
岩佐 美奈子
栄養管理のプロが
紹介します！

ゴーヤのおかか炒め

フライパンに油をなじませゴーヤを入れ炒める。
火を止める前にごま油とめんつゆを入れ、粉かつおを入れなじませる。(この時、めんつゆを入れ香ばしい香りがするまで炒める。粉かつおをたっぷり入れると苦味が少し消える)
火を止めてから糸かつおを入れる。

1人分

材料の紹介

ゴーヤ	40 g
油	3 g
ごま油	3 g
めんつゆ	5 g
粉かつお	適量
糸かつお	適量



なすの揚げ浸し

茄子は洗って水を切り、油で素揚げにする。揚げた茄子をめんつゆに浸け込み、葱、生姜もなじませる。(めんつゆの代わりにポン酢でもおすすめ)

1人分

材料の紹介

茄子	80 g
油	8 g
めんつゆ	8 g
葱	3 g
土生姜	5 g

きゅうりの冷やし汁

胡瓜は乱切りにしておく。
かつおだしをとっておく。
かつお出しに乱切りした胡瓜を入れて煮る。
味を白だしで調える。
お好みでトロミを付ける。
冷蔵庫で冷やし。
お好みで生姜汁などを入れて下さい。

1人分

材料の紹介

胡瓜	1本
かつおだし	150cc
白だし	3cc
片栗粉	少々
お好みで生姜汁	少々



炊き込みご飯

米は洗いを水切っておく。
具材は食べやすい大きさに切る。
炊飯器に米を入れ調味料と水を入れ
目盛りまで水の量をあわせる。
出し昆布、具材を入れ、炊飯。

1人分

材料の紹介

米 (白米での炊き上がり
分量は 100g に相当する)

具材	調味料
鶏もも肉	10 g
酒	少々
うす揚げ	5 g
塩	0.1 g
人参	5 g
白だし	1.5 g
しいたけ	5 g
しめじ	5 g
出し昆布	少々

内科外来の待合フロアが広がった！

昨年の病院機能評価受審で“中待合”を改善するようにとの指摘がありました。また、6～7月にかけて脳神経外科・形成外科が復活・新規開設され、外科のエリアに間借りしていましたが老年内科の外来ブースを内科外来エリアへ再編しなければなりません。2ヶ月あまりの短期間に内科外来改装を計画・実行しました。新しい内科外来の印象はいかがでしょう？久しぶりに来られた患者さんたちが、“変わりましたね”と驚きの声を上げ、“以前よりも待合が広くなり、どのブースに入ればよいのかわかりやすくなった”とおっしゃってくださいました。日常診療を阻害することなく見事な改装を実現してくださった総務課の方々の努力に感謝です。



リニューアルされた内科外来

“変わりましたね”と驚きの声を上げ、“以前よりも待合が広くなり、どのブースに入ればよいのかわかりやすくなった”とおっしゃってくださいました。日常診療を阻害することなく見事な改装を実現してくださった総務課の方々の努力に感謝です。

副院長 関 庚煇 みん きょんよび

市民公開講座からのお知らせ

市立伊丹病院 市民公開講座

『～いつまでも元気に歩くために～
体に優しい最新の人工関節置換術のお話』

日時 平成 25 年 9 月 19 日 (木) 15 時～ 16 時
場所 スワンホール 3 階多目的ホール
座長 整形外科主任部長
兼 人工関節センター長 なかい つよし 中井 毅
演者 整形外科 副医長 ふどう かずまさ 不動 一誠

市立伊丹病院 市民公開講座

『第 12 回 眼科・皮膚科・歯科口腔外科 健康教室』

日時 平成 25 年 11 月 9 日 (土) 13 時より開演いたします。
場所 スワンホール 3 階多目的ホール
演者 眼科医師、皮膚科医師、歯科口腔外科医師等

市立伊丹病院 市民公開講座

『肥満と糖尿病予防と療養 すこやか外来教室
第 8 回 糖尿病オータムフェア』

日時 平成 25 年 11 月 16 日 (土) 13 時より開演いたします。
場所 スワンホール 3 階多目的ホール
演者 医師、看護師、栄養士、理学療法士等

医師 人事異動のお知らせ

採用

平成 25 年 6 月 1 日

老年内科 医長	<small>おどき かずなり</small> 尾崎 和也
臨床研修医	<small>こばし のりゆき</small> 小橋 範之

平成 25 年 7 月 1 日

整形外科 副医長	<small>ふどう かずまさ</small> 不動 一誠
皮膚科 医員	<small>ふるかわ さやか</small> 古川 紗綾柱

平成 25 年 7 月 4 日

形成外科 医長	<small>なかむら かずと</small> 中村 和人
---------	-------------------------------

退職

平成 25 年 6 月 30 日

皮膚科 副医長	<small>ささき のぶこ</small> 佐々木 宣子
---------	-------------------------------

～保険医療機関では毎月、患者様に保険証の提示をお願いしております。月初めには初診受付で保険証の提示、確認にご協力くださいますようお願いいたします。～

2020年のオリンピック・パラリンピックを日本で！

伊丹市はオリンピック・パラリンピック東京招致を応援しています



伊丹市キャラクター たみまる